

(別紙3 様式第19号 別紙2)

森林・山村多面的機能発揮に対する効果チェックシート

1. 活動組織の概要

①活動組織名	昭和の森を守る会			取得年数	7	年
②主な対象森林の所在地	都道府県	栃木県	市区町村	宇都宮市		
③活動計画の取組年度	<input type="checkbox"/> 1年目 <input type="checkbox"/> 2年目 <input type="checkbox"/> 3年目					
④活動タイプ等 (令和 5 年度)	<input type="checkbox"/> 活動推進費 <input checked="" type="checkbox"/> 里山林保全 <input checked="" type="checkbox"/> 竹林整備 <input checked="" type="checkbox"/> 森林資源利用 <input type="checkbox"/> 森林機能強化 <input checked="" type="checkbox"/> 関係人口 <input type="checkbox"/> 資機材購入					
⑤地域住民の比率	<input type="radio"/> 90%以上 <input checked="" type="radio"/> 75～90% <input type="radio"/> 50～75% <input type="radio"/> 25～50% <input type="radio"/> 25%未満					
⑥活動目標	繁茂している森林内の雑草木の刈払いを行い林内の見通しを良くするとともに、倒木や不要木の整理を行い安全を確保し健全な森林の復活に寄与する					

※③・④・⑤欄は、該当する口又は○にチェックを付けてください。

2. 活動の変化・成果の確認（※本交付金の取得前と比較の上でご回答ください。）

※以下の項目について、実現ができていないと思う場合には、右側の口にチェックを入れてください。

※チェック欄は、活動計画1年目の時には「1年間」、2年目の時には「2年間」、3年目の時には「3年間」の活動を通じた変化・効果を記載してください。

項目	効果	チェック欄
活動（横展開）の広がり	活動組織の構成員数が増加した	<input checked="" type="checkbox"/>
	幅広い年齢層が協力して活動を行った	<input checked="" type="checkbox"/>
	新聞や雑誌、広報誌などで活動を紹介された	<input type="checkbox"/>
	他団体（活動団体、企業、自治体等）との協力関係が生まれた	<input type="checkbox"/>
	外部（異なる集落や都市）の住民も森林整備活動に参加した	<input checked="" type="checkbox"/>
活動（自立性）の持続性	構成員が森林整備のための技術や安全管理の資格を取得した	<input type="checkbox"/>
	森林整備のための機材や道具を使用できる構成員数が増えた	<input checked="" type="checkbox"/>
	森林整備のために利用可能な本交付金以外の資金が増えた	<input type="checkbox"/>
	若い世代（40歳未満）が参加しており、長期的な活動が可能である	<input checked="" type="checkbox"/>
	本交付金終了後に森林整備活動を継続できる見込みがある	<input type="checkbox"/>
地域（景観）貢献	対象森林が明るくなり、見通しが良くなった	<input checked="" type="checkbox"/>
	活動組織の構成員以外から景観が良くなったと言われるようになった	<input checked="" type="checkbox"/>
	対象森林や周辺で不法投棄されるゴミの量が減った／ゴミのない状態を維持している	<input checked="" type="checkbox"/>
	対象森林が、観光資源としても利用できるようになった	<input checked="" type="checkbox"/>
	在来種や歴史性を考慮した地域ならではの景観を守っている	<input checked="" type="checkbox"/>
地域（文化・教育）貢献	対象森林が、地域の憩いの場として活用されている	<input checked="" type="checkbox"/>
	対象森林が、地域の子供たちの自然体験活動や学習・教育の場となっている	<input checked="" type="checkbox"/>
	地域の幼稚園、保育園、小中学校のいずれかと協力関係にある	<input type="checkbox"/>
	対象森林から得られた資源を伝統工芸品づくりに活用した	<input checked="" type="checkbox"/>
	伝統文化の維持や郷土食づくりに貢献する活動を行った	<input type="checkbox"/>
地域（その他）貢献	鳥獣被害が軽減された（野生鳥獣の出没・侵入が減った）	<input checked="" type="checkbox"/>
	地域の農業と連携した活動を行った	<input type="checkbox"/>
	希少動植物の保護や生物多様性の保全に貢献している	<input checked="" type="checkbox"/>
	土砂流出が軽減されるなど自然災害の防止に役立った	<input checked="" type="checkbox"/>
	特産品の開発や地域の雇用創出など地域経済の活性化に貢献している	<input checked="" type="checkbox"/>

3. 関係人口の創出について

今年度を実施した本交付金の活動における地域外からの活動参加者の「延べ人数」及び昨年度の参加者の「延べ人数」の比較について記載してください。

①今年度の地域外からの参加人数 (延べ人数を記載してください。)		60	人
②昨年度の地域外からの参加人数との比較 (延べ人数で比較して、「増加した」か「減少した」のどちらかに記載してください。)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加した (12	人)
	<input type="checkbox"/> 減少した (人)
	<input type="checkbox"/> 変化なし		

■ 特筆事項（災害等の状況）

自然災害等により、活動を計画どおりに行うことが困難な状況が生じた場合は、期待どおりの効果が得られないことも想定されます。

災害等が発生し計画どおりに活動ができなかった場合には、その理由を選択し、該当がなければその他に簡単にご記入ください。

- 災害等で活動区域が被害を受け、活動が行えなかった。
- 災害等で活動区域までの道が被害を受け、活動が行えなかった。
- 土地所有者との協定が締結できず活動が行えなかった。
- 感染症等の感染防止のため活動が行えなかった。
- その他